

# 実践！環境経営セミナー

## 環境経営で会社を強くする

宇田環境経営研究所 所長  
環境カウンセラー  
エコアクション21 審査人・ガイドライン改訂委員 宇田 吉明

### 講師プロフィール(宇田吉明)

1947年 神奈川県川崎生まれ  
 1970年 早稲田大学理工学部卒業  
 明治製菓に入社、食品及び医薬品のエンジニアリングに従事  
 食料生産部次長、工務環境室長・環境管理責任者を歴任  
 「マルチキッス」「ブッカ」「ガルボ」「ボルテ」「フラン」等の新製品開発に関わる  
 大阪工場で省エネ及びゼロエミッションで農林水産大臣賞受賞に貢献  
 省エネルギーセンター等で省エネ対策の講演活動  
 月刊誌等で省エネ・廃棄物対策等の執筆活動  
 2000年 摂南大学非常勤講師(地球・環境資源論)  
 宇田環境経営研究所設立 事業者の環境経営の支援開始  
 中小企業の環境、品質、食品安全コンサルティング活動を推進  
 現在 NPO大阪環境カウンセラー協会 副理事長  
 EA21地域事務局大阪 普及委員長、(判定委員長)、運営委員  
 大阪市なにわエコ会議 環境に配慮した企業部会長  
 (大阪府)・大阪市・京都市の環境マネジメントシステム第三者監査員(アドバイザー)  
 資格 (中小企業診断士)、EA21 審査人、EMS審査員、エネルギー管理士、建築士  
 公害防止管理者(水質1種)、環境カウンセラー、ボイラ技師他

#### 著書



### 本日の内容

- 「強い会社」と「会社を強くする方策」
- 経営を取り巻く環境問題の変遷と企業の対応
- 会社を強くする仕組みづくり～環境経営システム～
- 環境経営システムを活用した強い会社づくり～環境経営の仕組みづくり～
- 環境活動レポートからみる好取組事例紹介

### 本日のテーマ

～環境経営で会社を強くする～

#### <強い会社>

- 売上を伸ばす営業力
- 利益を出せる体質
- 新技術・新製品を開発できる人材
- 改善活動が進む組織
- コンプライアンスを確保
- 取引先・顧客から信頼される会社

#### <強い会社を作る方策>

〇〇経営  
 環境経営  
 □□経営



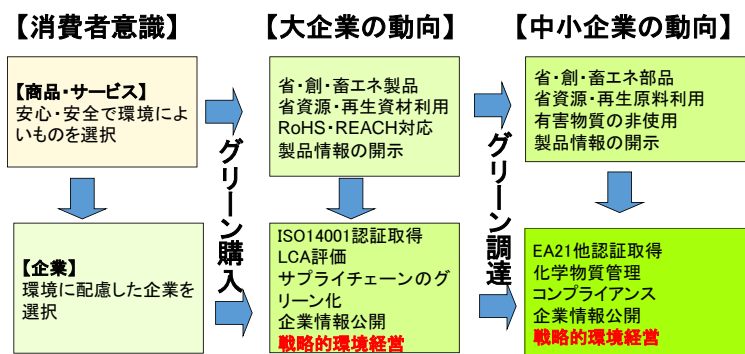
## 経営を取り巻く環境問題の変遷と企業の対応

(積極的活用) ↑ 環境経営  
↓ 対症療法 (受け身で対応)

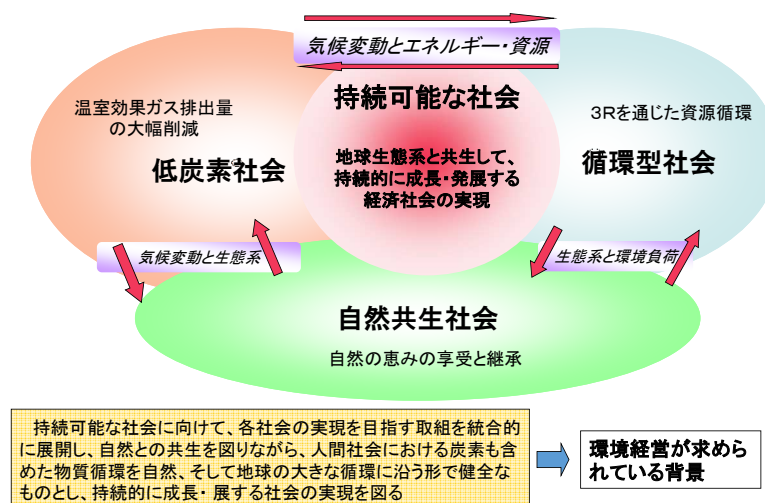
## 環境問題の変遷と企業の対応

企業の視点・課題	年代	世界	日本	環境関連ビジネス
環境経営で成長	2010年代		再生エネルギー法	再生エネルギー設備 EV・燃料電池車 低炭素住宅 健康機器 非PRTR物質 再生資材 静脈産業
製品への環境配慮 省エネ・省資源 化学物質管理	2000年代		循環型社会形成推進基本法 化学物質規制法 各種リサイクル法	
地球環境問題 省エネ対策	1990年代	地球サミット	環境基本法	省エネ製品 低燃費車
公害対策・ごみ対策	1980年代			
石油問題・ごみ問題	1970年代	オイルショック 成長への限界	省エネ法 廃棄物処理法	省エネ製品 低燃費車
公害問題	1960年代	沈黙の世界	公害対策基本法	排ガス処理 排水処理 6

## 消費者意識と企業の動向 ～サプライチェーンのグリーン化への動き～

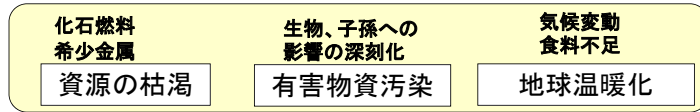


## 環境経営で目指すビジネスの方向 (I)

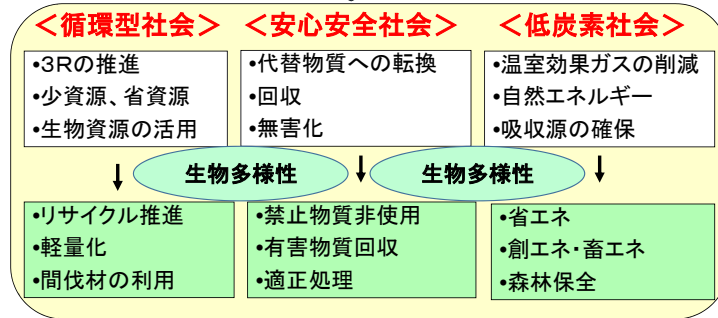


## 環境経営で目指すビジネスの方向(Ⅱ)

(課題)



(方針)(目標)



環境経営＝持続可能な社会を見据えて“勝ち残る経営”

(活動計画例)

## 企業の対応 ～地球温暖化問題～

- <緩和>**
- 省エネ機器開発・販売
  - 低炭素システム開発・販売
  - ・
  - ・
  - ・

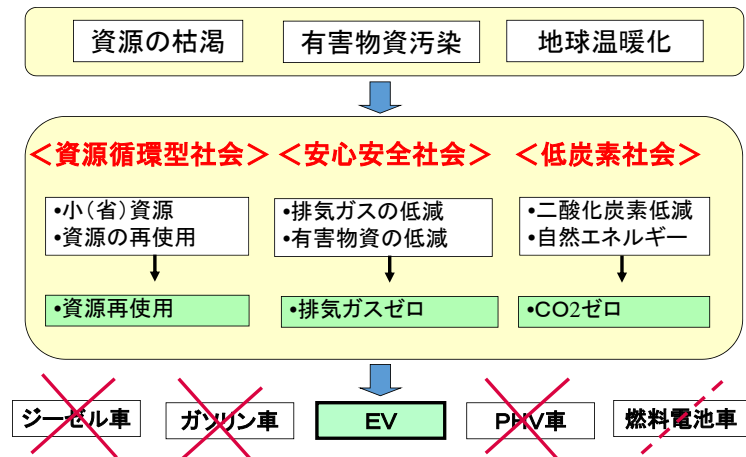
- <対応>**
- 農産物品種改良(農業)
  - 植物工場(農業の工業化)
  - 養殖技術の向上
  - 防潮堤、浸水防止(工事)
  - 地域冷房導入
  - 避暑地(不動産、建築)
  - 
  - ・
  - ・

## 企業の対応 ～資源枯渇問題～

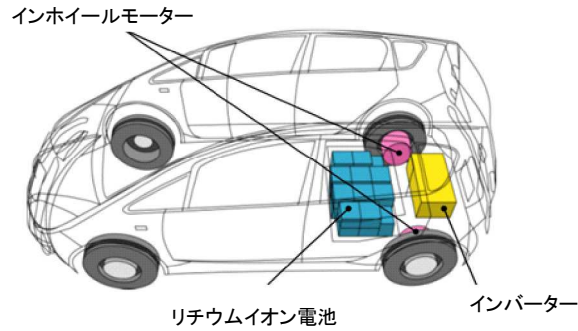
- <緩和>**
- 省エネルギー機器開発・販売
  - 省資源機器開発・販売
  - 資源リサイクル(静脈産業)
  - ・
  - ・
  - ・
  - ・

- <対応>**
- 代替資源の生産
  - 代替エネルギーの生産(供給)
  - 代替資源の用途開発
  - ・
  - ・
  - ・
  - ・

## (例)自動車の将来の方向

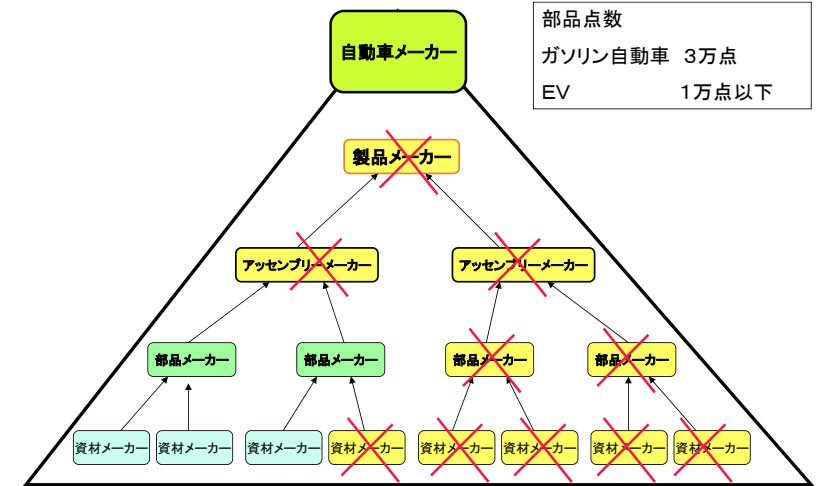


## 究極の自動車の姿(予測)



トランスミッション、ドライブシャフト、デファレンシャル、ラジエター、オイル等が必要なくなる

## 自動車産業の将来(予測)



## 会社を強くする仕組みづくり ～環境経営システム～

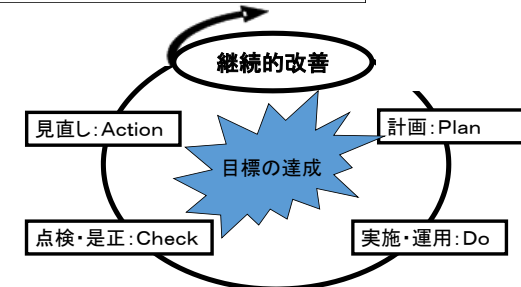
## 会社を強くする仕組み ～経営システム～

～方針を策定し、目標を達成し、継続的に改善するための仕組み～

- ① 方針を定め
- ② 目標を設定し、実施計画を立て
- ③ 役割と責任を決め、教育し、実施し
- ④ 結果を評価し、見直し
- ⑤ 継続的に改善する

PDCAサイクル

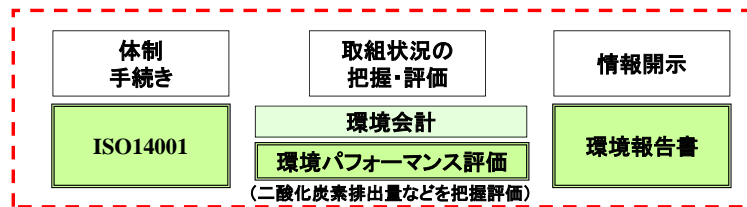
経営に必要な  
手段



## 会社を強くする環境経営システムの要素

環境経営システム  
環境影響評価システム  
環境情報公開

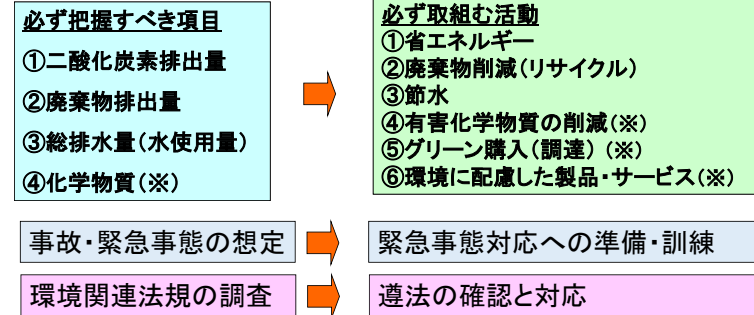
統合型  
環境経営システム



■ =EA21の構成 (EUのEMASの日本版といえる)

## EA21の要求事項と取組事項 ～=会社を強くする要素～

### 1. 必要な環境への取組と活動を規定 (必須要件)



### 2. 環境コミュニケーションにも取り組むことを規定

環境活動レポートの作成と公表

## 環境経営システムを活用した強い会社づくり ～環境経営の仕組みづくり～

## 各部署のテーマ設定で会社を強くする

業務・部門	主なテーマ
経営企画	環境を配慮した経営戦略、環境関連新事業展開、CSR、BCP
経理・財務	金融の優遇制度の活用、環境会計、エコファンド、CO <sub>2</sub> ビジネス
人事	環境に配慮した人材の採用、環境教育、リスク対応能力訓練
総務	グリーン購入、提案制度、対外コミュニケーション、3S活動
資材調達	グリーン調達、CSR調達、資材環境情報収集、化学物質対応
営業・販売	顧客情報収集、環境配慮型商品販売、環境重視マーケティング
広告・宣伝	環境配慮企業PR、環境活動レポート活用、ホームページ活用
環境	環境法規制対応、エネルギー供給管理、廃棄物管理、排水管理
品質保証	品質調査・分析→改善提案、クレーム対策、ロス対策
生産技術	設備のグリーン購入、設備情報収集、新製法開発、工程改善
商品設計	環境配慮設計(エコデザイン)、新素材等環境情報収集
生産・製造	作業効率改善、歩留向上、不良率低減、稼働率向上、3S活動
外注管理	生産技術指導、工程改善、品質改善、環境対策指導、設備改善助言

# PDCAを織り込んだ活動計画書 ～部門の環境活動計画書(例)～

2013年度 活動計画書 (製造部1課)				承認	確認	作成
目標	目標達成手段	責任部署	スケジュール	11年度計画		
※社に提出する詳細項目は必ず明記する	※計画にブレンドで◎を付けた項目	責任部署	4月	1月	3月	5月
<b>残業時間の削減</b> 2012年度実績 828時間 2013年度目標 90% 削減率 -10% 目標値 745時間 2014年度目標 811 96% 2015年度目標 803 97%	工場内の機材整備 設備点検整備 機材の応用 電子図の整備	田中課長	6月	6月	9月	12月
<b>クレーム件数の削減</b> 2012年度 0件 2013年度目標 75% 削減率 -25% 目標値 0件 2014年度目標 0 70% 2015年度目標 0 60%	品質向上の徹底 品質管理の徹底 品質改善の徹底	田中課長	6月	6月	9月	12月
<b>在庫回転率の向上</b> 2012年度 850回 2013年度目標 101% 削減率 1%	在庫管理の徹底 在庫削減の徹底	田中課長	6月	6月	9月	12月

“EA21プラザ”で検索(様々な様式を提供しています)

# 経営システムを統合した部門の活動計画 ～安全・品質・環境を一つにした計画書～

****年度 部門活動計画書				承認	作成				
テーマ	品質	環境	安全	11年度計画					
効果	品質	環境	安全	1月	2月	3月	4月	5月	6月
<b>〇〇製品の加工ミス削減 1.2%→1.0%</b> 加工ミスの集計 加工ミスの要因分析 作業改善	◎	◎	◎						
<b>3S活動の推進</b> 他社見学 工具類の整理整頓 表示 床の塗装	◎	◎	◎						
<b>提案活動の推進</b> 他社見学 提案制度の取り決め 課題提案募集	◎	◎	◎						

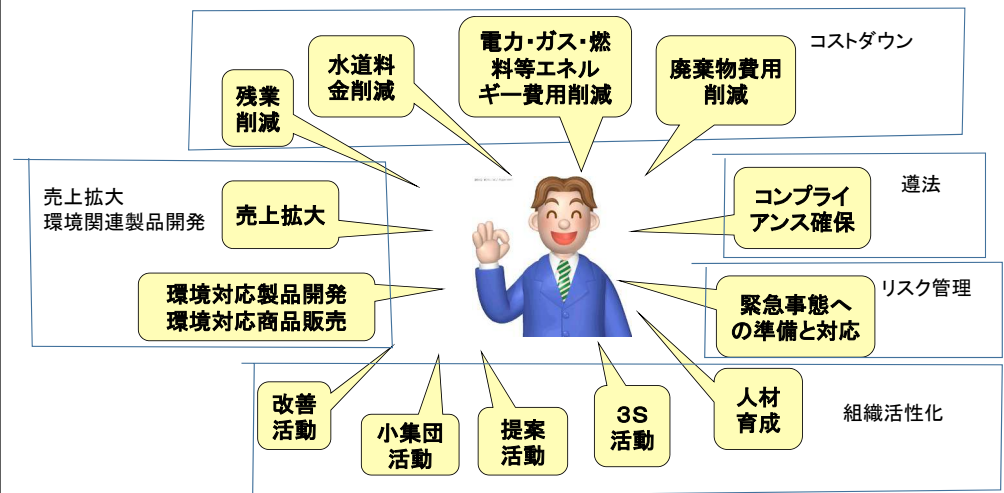
“EA21プラザ”で検索(様々な様式を提供しています)

# 強い会社づくりは改善活動から ～環境方針・目標から業務改善への展開～

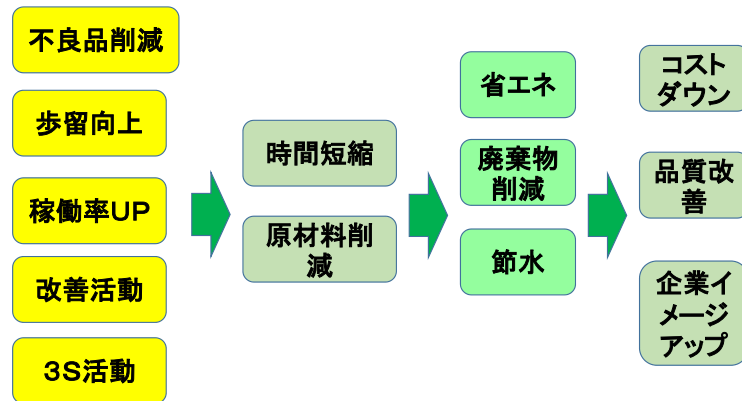
環境方針	環境目標	目標達成手段
二酸化炭素削減	業務改善による時間短縮	出張旅費精算システム導入
	ロス削減	加工方法改善
	クレーム削減	検査方法見直し
	ガソリン削減	GPS活用による配送効率改善
廃棄物削減	ロス削減	加工方法改善
	クレーム削減	検査方法見直し
水使用量削減		
有害化学物質削減		
グリーン購入・調達		
製品・サービスへの環境配慮		
5S活動の推進	5S活動の推進	各部署で自部署の取組を決める

経営者が実現したいことを宣言する。毎年変えても構わない。

# 環境経営で会社を強くする様々な取組



## 小集団活動で会社を強くする ～改善活動＝環境負荷低減～



25

## 全員参加で会社を強くする

- 目標達成手段ごとに担当者を決める
- 個人カード(私のやることカード)をつくる
- 個人活動計画書を作成する
- 毎月順番に朝礼、ミーティングで発表する
- 環境活動レポートに個人の紹介ページを掲載する
- 提案表彰する
- 発表大会を実施する

26

## 5S活動で会社を強くする

5S	目に見える効果	経営効果	効果の出る指標
整理	ほしいものがすぐ見つかる	仕事の効率が良くなる	・売上高
	モノを動かす作業が減る		・残業時間数
整頓	発送ミスが減る	クレーム減少 →信頼性の向上	・生産数量
	製品破損が減る		・事故率
清掃	在庫数が一目でわかる	在庫の回転が良くなる	・顧客数の増加
	過剰な発注がなくなる		・リピート率
清潔	働く人の気持ちもきれい	社員のモチベーションが高まる	・クレーム率
	会社に誇りを持つ		・工程内不良率
躰			・不良在庫数
			・在庫回転率
			・資本利益率
			・在庫数
			・離職率
			・社員満足度
			・会社見学者数
			・改善提案件数

- コストダウン
- 稼働率向上
- 作業時間短縮(省エネ)
- 不良品削減(廃棄物削減)
- 改善活動

27

## 積極的な環境経営システムの活用 ～消極的運用から積極的な運用へ～ ～受身の受審から攻めの受審へ～

<環境システム>

<経営システム>

環境事務局のみが取組

➡ 全員が参加

直接的な削減だけを目標に

➡ 間接的な削減や行動も目標化

品質、安全など別々に運用管理

➡ 一体化して運用管理

受身の審査

➡ 攻めの姿勢で審査を活用

28

## 環境活動レポートからみる好取組事例

(私がEA21の審査で助言した事業者から)

- EA21認証取得事業者の環境活動レポートは公表されています。
- ぜひとも参考にして、自社を強くする活動に役立ててください。

## 強い会社は環境教育から ～個人目標を公表して意識向上と取組推進～



従業員個人目標宣言の掲示

<新日本カレンダー様>

## 強い会社は環境教育から ～全社あげてエコ検定にチャレンジ～

### エコ検定合格者

エコビールがつくるエコな紙。  
エコ検定合格者、2012年9月現在 30名。  
今年も2名の仲間が増えました。



<山陽製紙様>

従業員 48名  
合格者 63%

## 環境教育で大きな成果 ～自動車燃費向上でコスト削減～

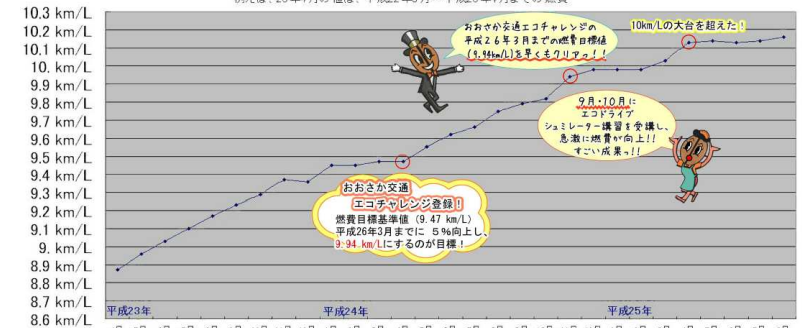
### 燃費推移グラフ

23台ある全車両の平均の燃費推移です。順調に燃費が向上しています。  
特に、エコドライブのシュミレーター講習後の伸び率が大きいようです。

運転中は、  
急がず・イライラせず  
落ち着いて  
安全運転第一!



燃費推移グラフ  
それぞれの月までの1年間の燃費  
例えば、23年4月の値は、平成22年5月～平成23年4月までの燃費



<上島珈琲貿易様>



## 3Sで会社を強くする ～3Sはすべての基本～



山田製作所様

山田製作所では、「徹底した3S」に  
全社員で取り組んでいます。

『徹底した3S＝環境活動』  
電力・水道・廃棄物の削減の取り組みはもちろん、  
ムダな時間を過ごさないことで  
自然と環境活動ができてきます。

環境活動計画の5項目の目標達成手段の中に  
“徹底した3S”を掲げています。



富士製作所様

## 防災訓練で会社を強くする ～いざという時に適切に対応できるように～



例年、12月初めに実施している  
『火災非難訓練』の様子です。  
朝礼にて環境管理責任者により、  
訓練の説明をしています。  
各部署リーダーによる消火器の使用手法等  
のシミュレーションも実施しています。

富士製作所様

## 強い会社は強い商品から ～製品・サービスへの環境配慮～

### 8. 製品の環境への配慮

#### サステナブルコーヒーの取扱い

サステナブルコーヒーとは、自然環境や人々の生活を良い状況に  
保つことを目指して生産/流通されたコーヒーの総称です。  
弊社は次のサステナブルコーヒーを取扱いを増やしています。

(1) レインフォレスト  
アライアンス  
認証コーヒー



(2) フェアトレード  
認証コーヒー



(3) 有機JAS認証コーヒー



製品に有機JAS加工業者の認定を  
受けないと製品に有機JASマークを  
貼付できません。



今、平成26年春の認証取得に向けて  
社内のプロジェクトが稼働中!!  
認証取得頑張ります (´▽`)

<上島珈琲貿易様>

## おわりに

- ◆資源・環境問題は避けて通れない
- ◆資源・環境問題で経済社会は変わる
- ◆資源・環境問題はビジネスチャンスにもなる
- ◆環境経営システムは使い方次第
- ◆環境経営システムの積極的活用を
- ◆環境経営で会社を強くしよう

宇田環境経営研究所 宇田吉明  
E-mail:uda@ecolonet.com Tel:050-3470-4520